

2026年12月期中間期 決算説明会

2026.8.27

市場区分変更のお知らせ



当社は 2026 年 8 月 7 日付で
東京証券取引所「**スタンダード**」市場に区分変更されました。

多くの皆様からのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

これからも、『**MADE BY JMC**』という企業理念のもと
最先端のものづくりの道を切り拓いてまいります。

- 1** 2026年12月期中間期 全社事業概要
- 2** 2026年12月期中間期 事業別業績概要
- 3** 2026年12月期の取り組み進捗

1 2026年12月期中間期 全社事業概要

2 2026年12月期中間期 事業別業績概要

3 2026年12月期の取り組み進捗

2026年12月期中間期 業績ハイライト

単位：百万円	2025年12月期 中間期（2Q）	2026年12月期 中間期（2Q）	増減額	増減率
売上高	1,435	1,309	△126	△8.8%
売上総利益	383	473	90	23.5%
売上総利益率	26.7%	36.1%	—	9.4P
販売費及び一般管理費	472	443	△28	△6.1%
営業利益（△は営業損失）	△89	29	118	—
営業利益率	△6.2%	2.2%	—	8.4P
経常利益（△は経常損失）	△94	34	128	—
経常利益率	△6.6%	2.6%	—	9.2P
中間純利益（△は中間純損失）	△72	25	97	—

売上減少も利益確保に好転。減損効果に加え、各費用の精査・管理を徹底

貸借対照表サマリー

単位：百万円	2025年12月期	2026年12月期 中間期（2Q）	増減額	増減率
流動資産	1,295	1,149	△145	△11.3%
固定資産	1,567	1,506	△60	△3.9%
資産合計	2,863	2,656	△206	△7.2%
流動負債	787	680	△107	△13.7%
固定負債	427	299	△128	△30.0%
負債合計	1,215	979	△236	△19.4%
純資産合計	1,647	1,676	29	1.8%
自己資本比率	57.5%	63.1%		

資産 売上債権の減少と資産の減価償却により減少

純資産 中間純利益の計上により増加

負債 借入金の返済が進み減少

自己資本比率 高水準を維持

キャッシュ・フロー計算書 サマリー

単位：百万円	2025年12月期 中間期（2Q）	2026年12月期 中間期（2Q）	増減額	増減率
営業活動によるキャッシュ・フロー	368	386	18	4.9%
固定資産の取得による支出	△134	△42	91	68.0%
その他	0	△0	△0	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△134	△43	90	67.6%
短期借入金の純増減額（△は減少）	△100	△50	50	50.0%
長期借入れによる収入	－	100	100	－
長期借入金の返済による支出	△121	△221	△100	△82.3%
リース債務の返済による支出	△39	△31	7	19.6%
その他	0	△0	△0	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△260	△203	57	21.9%
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△26	139	165	－
現金及び現金同等物の期首残高	419	425	5	1.3%
現金及び現金同等物の期末残高	393	564	171	43.5%

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業利益の計上などにより増加

投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得による支出が減少

財務活動によるキャッシュ・フロー

中間期比では短期借入返済額が減少

1 2026年12月期中間期 全社事業概要

2 2026年12月期中間期 事業別業績概要

3 2026年12月期の取り組み進捗

事業概要・事業領域

3Dプリンター事業

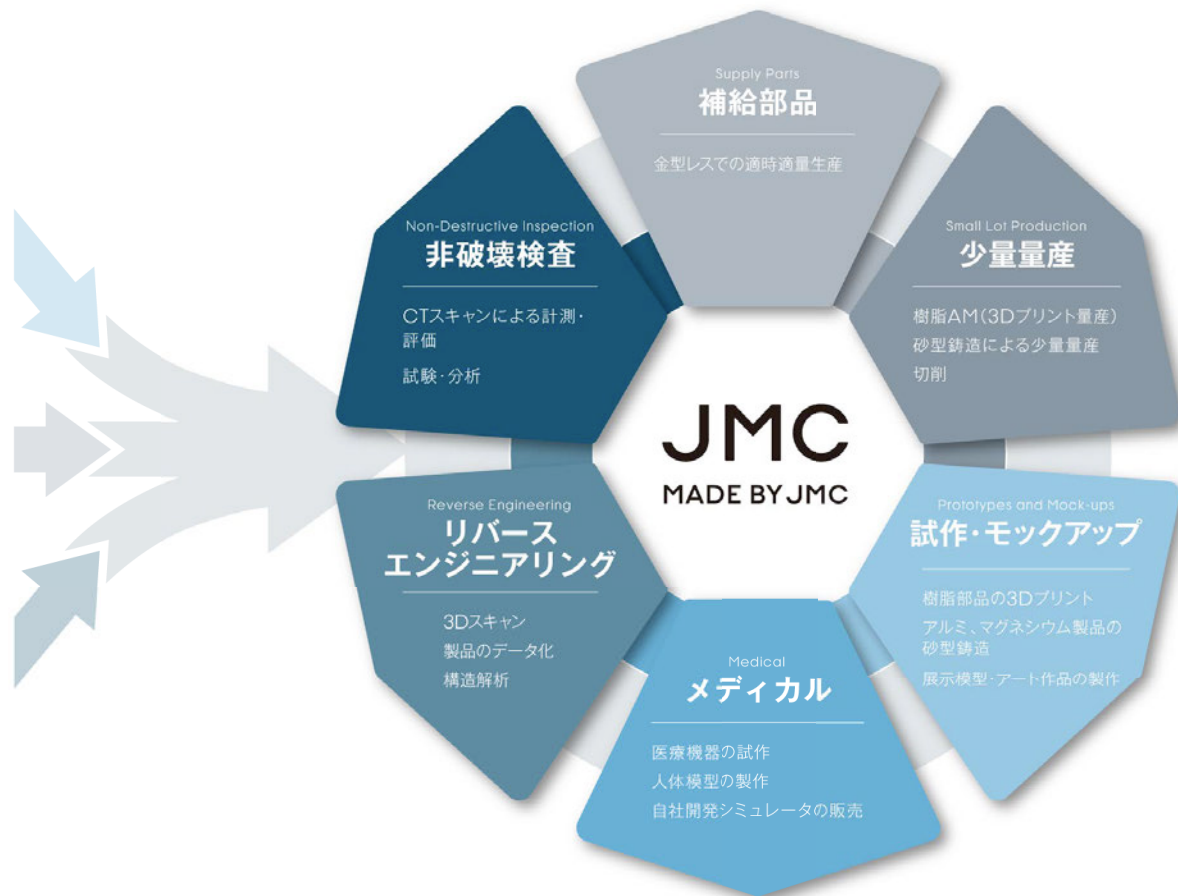
工業部品の試作から販促向けの模型、アート作品など幅広い分野に向けて3Dプリントサービスを提供。業界屈指のノウハウでお客様の課題を解決する。

鋳造事業

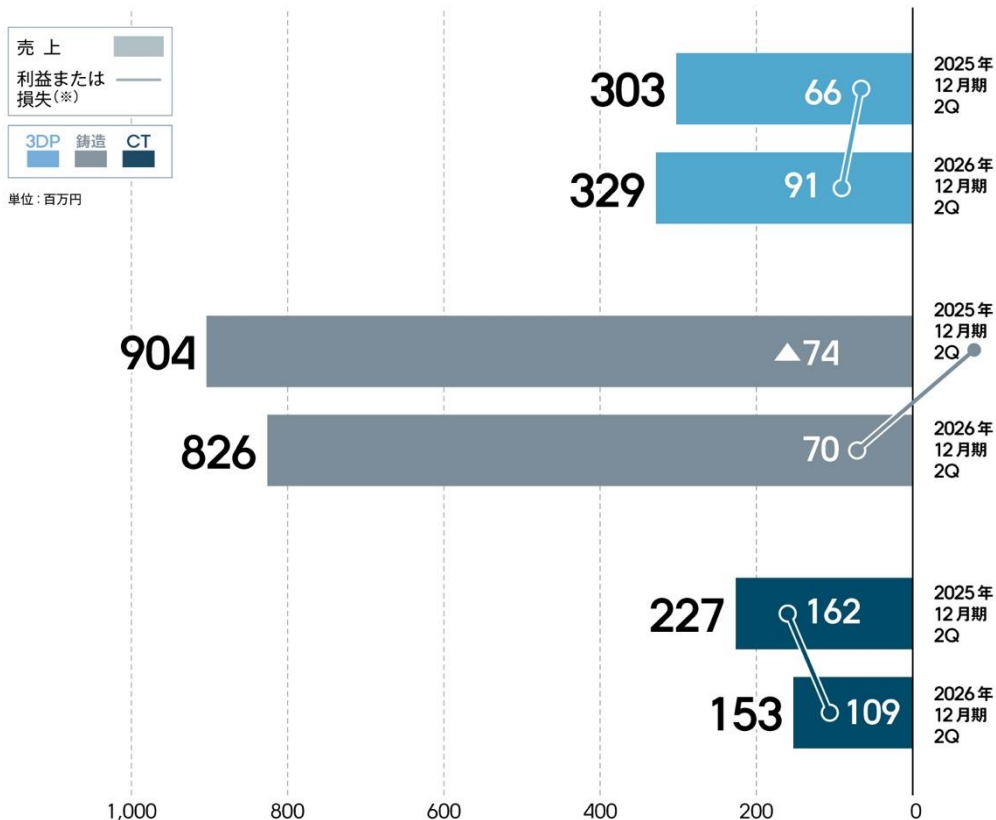
砂型鋳造によってアルミ、マグネシウムの鋳物製造を行う。高い品質と対応力を強みに、自動車・ロボット分野を中心に多くのユーザーから支持を得る。

CT事業

産業向けに特化したCTスキャナによって非破壊検査や、三次元測定サービスを提供。あらゆるニーズに対応可能な設備力・技術力によって業界トップの実績を誇る。



2026年12月期中間期 セグメント別情報



3Dプリンター事業

出力サービス

単純な造形にとどまらない多様な案件を戦略的に獲得

HEARTROID

グローバル営業人材の増強により順調な売上推移

鋳造事業

新工場長を中心とした新たな組織体制の下、生産性向上

大型、薄肉・高強度化の需要増で生産難易度がアップ

品質管理体制の確立を最優先し、一定の成果は獲得

CT事業

自社リソースに拘らない営業力、機会の獲得に注力

ボリューム案件の訴求や提案に至らず、総量が減少

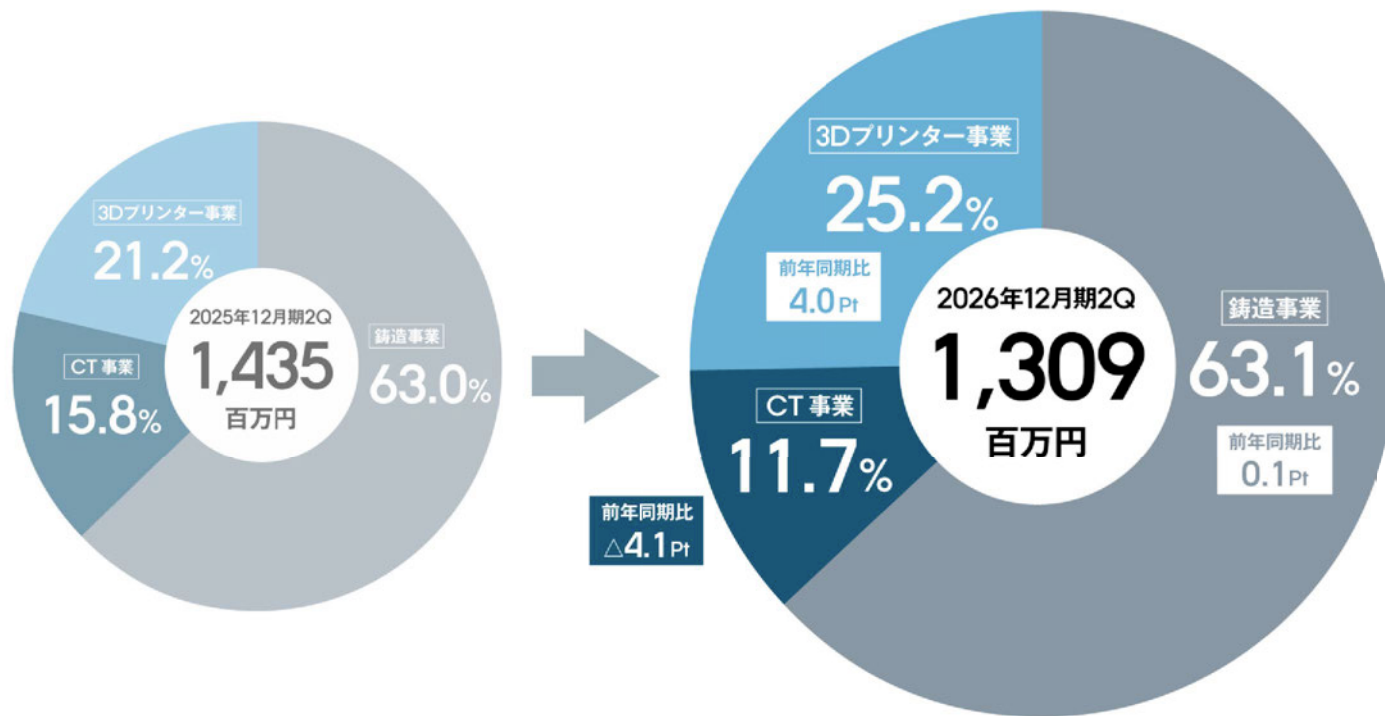
当中間期までのCT装置販売実績は0件

(※) 一般管理費控除前のセグメント利益または損失

2026年12月期中間期 セグメント別情報

単位：百万円	売上高				セグメント利益			
	2025年 12月期2Q	2026年 12月期2Q	増減額	増減率	2025年 12月期2Q	2026年 12月期2Q	増減額	増減率
3D プリンター 事業	303	329	25	8.5%	66	91	25	37.5%
鋳造事業	904	826	△78	△8.7%	△74	70	145	—
CT事業	227	153	△73	△32.3%	162	109	△53	△32.8%
その他					△244	△242	△1	—
損益計算書 計上額	1,435	1,309	△126	△8.8%	△89	29	118	—

セグメント別売上高比率



2026年12月期 見通し

単位：百万円	2024年12月期（実績）	2025年12月期（実績）	2026年12月期
売上高	3,072	3,223	3,020
営業利益	88	103	205
営業利益率	2.9%	3.2%	6.8%
経常利益	122	101	199
経常利益率	4.0%	3.1%	6.6%
当期純利益	50	△1,263	132

※実際の業績等は、さまざまな要因の変化等によりこれらの見通しと異なる場合があります。

2026年12月期 見通しに対する手応え・所感

単位：百万円	2026年12月期
売上高	3,020
営業利益	205
営業利益率	6.8%
経常利益	199
経常利益率	6.6%
当期純利益	132

※実際の業績等は、さまざまな要因の変化等によりこれらの見通しと異なる場合があります。

売上
進捗
43.4%

鋳造

営業組織の再構築と戦略・方針の見直し、顧客の声に真摯に耳を傾けることで、需要獲得への手応えあり。

3Dプリンター

展示会へ積極的な出展により露出増。

CT

ビジネスモデルの変革とCT装置販売で挽回を図る。

営業利益
進捗
14.4%

鋳造

共通費負担後赤字前提だったが復旧自体は想定より進捗良い。
経営トップ自らの直接関与で、製販の業務決定プロセスの迅速化を推進。

製造部門組織を改編し、品質向上への取組みを抜本的に見直し。

1 2026年12月期中間期 全社事業概要

2 2026年12月期中間期 事業別業績概要

3 2026年12月期の取り組み進捗

2026年12月期の取り組み進捗 業績回復への大方針を策定

2026年12月期の取り組み

A

鑄造事業は維持

事業規模をいったん縮小し
反転攻勢に備える

B

レストラン分野撤退

既存事業の選択と集中

C

積極的な買収提案の
実施

全事業におけるシナジー
創出

D

自社製品の開発・
販売の強化

「HEARTROID」
「アルケリス」との協業

進捗状況



設備投資凍結。既存リソースの最大限の活用を図り、
出費を徹底的に抑制。雇用は維持。



事業領域の選択と集中を実施。不採算分野から
撤退完了。



M&A について積極的な提案を実施。
一部は独占交渉権の獲得（自社都合で返上）。



協業は期間を区切った実施とし、資本提携には
至らず。

2026年12月期の取り組み進捗 鑄造事業

鑄造事業：2026年12月期の取り組み

進捗状況

1 止血

- ✓ 採算性の確保
新規性の高い案件への挑戦は継続



良品の生産プロセスの再現性を
高い次元で実現可能に。

2 縮小

- ✓ 体制の再構築
適正サイズの組織に再編



多能工化を進めるとともに、
シンプルな指示系統組織に改編。

3 発展

- ✓ 強い組織で受注活動強化
採算性確保の目途をつけ、
営業活動を拡張



営業体制を再構築。
需要の在り処を再度ヒアリング。

2026年12月期の取り組み進捗 — 3Dプリンター事業

2026年12月期の取り組み

3D

「マルチ3D プリンターファクトリー」
具体化

3D

装置開発、海外樹脂材料活用で競争力強化

3D

装置販売代理店活動を本格化

3D

自社発信のプロダクト開発

進捗状況



市場環境の変化の中で様々な情報網・人脈を
駆使して推進中



樹脂と装置の互換性確認の評価・検討を開始



Uniontech 社の代理店としての活動を開始



M&Aでの獲得は見送り

2026年12月期の取り組み進捗 — HEARTROID・CT事業

2026年12月期の取り組み

HR

北米進出を視野に販売体制強化

HR

中期的な視点で普及戦略を策定

CT

装置メンテナンスサービスの自社提供

CT

装置保守部品の在庫対応

進捗状況



医療機器メーカーとの取引拡大

現地でのダイレクトセールス・サポート体制強化を検討中



新たな販売スキームの構築検討

新興地域を含む新規市場を開拓

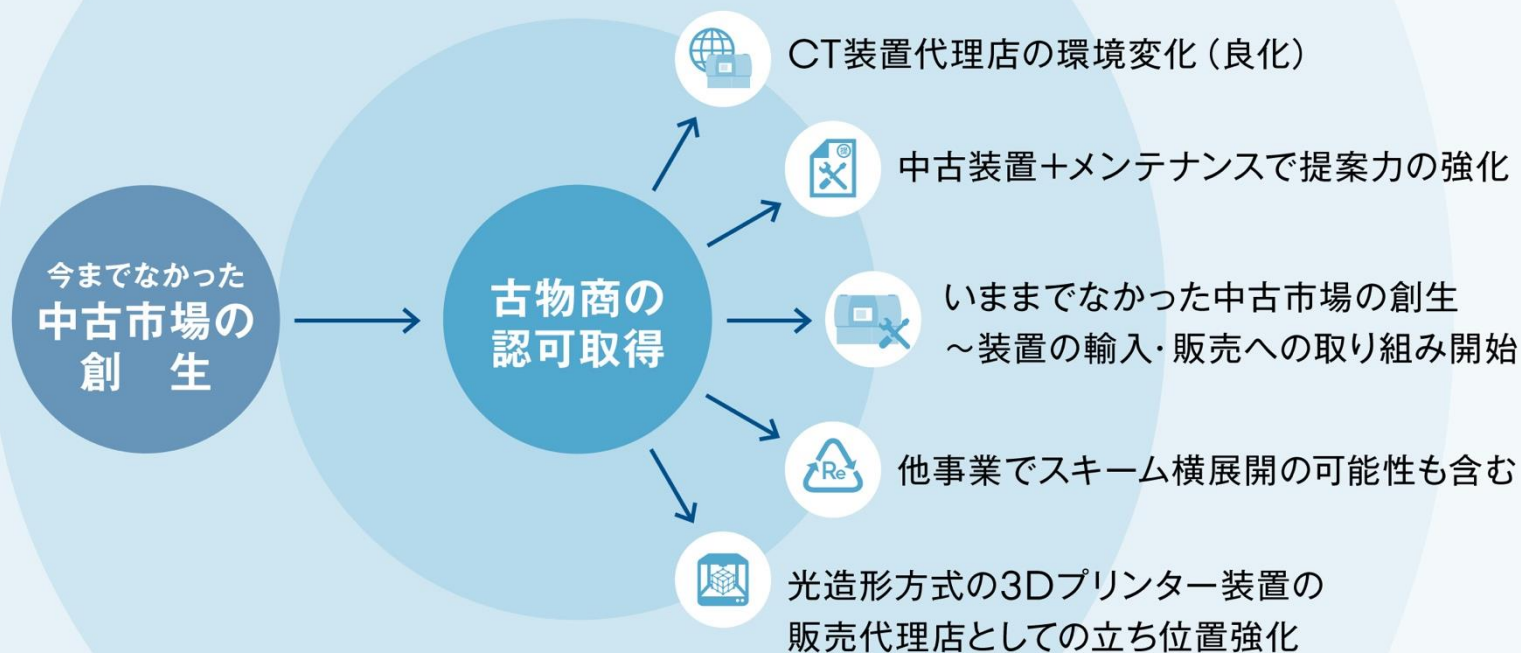


自社保有の一部装置のメンテナンス内製化に着手

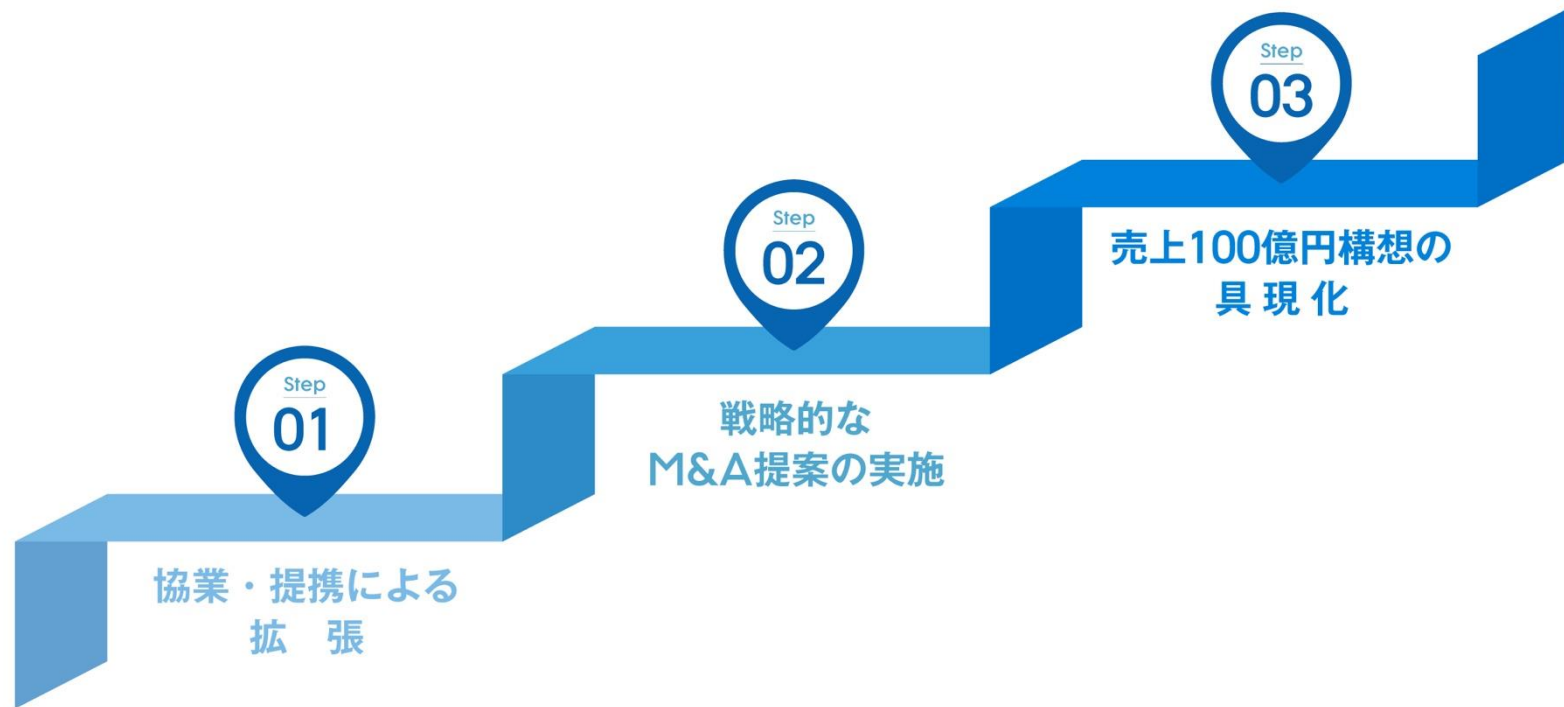


自社ストック部品を用い、顧客装置のダウンタイム短縮化に寄与開始

2026年12月期の取り組み進捗 市場創生に向けて



2026年12月期の取り組み進捗 — 事業範囲を再定義した挑戦



優先順位を明確に示して進める。現在は自社事業領域での業績回復に注力



ご質問は **Q&A** より入力をお願いいたします

Appendix



- [会 社 名] 株式会社 JMC
- [設 立] 1992年12月18日
- [資 本 金] 817,533千円
- [上 場 市 場] 東京証券取引所スタンダード (5704)
- [従 業 員 数] 152名 (臨時雇用者含む)
- [代 表 者] 代表取締役社長兼 CEO 渡邊 大知
- [本社所在地] 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目5番5号

ホームページのご案内



当社ホームページでは決算情報・プレスリリースのほか、各事業の詳しい内容を発信しています。

jmc-rp 
www.jmc-rp.co.jp

工場紹介

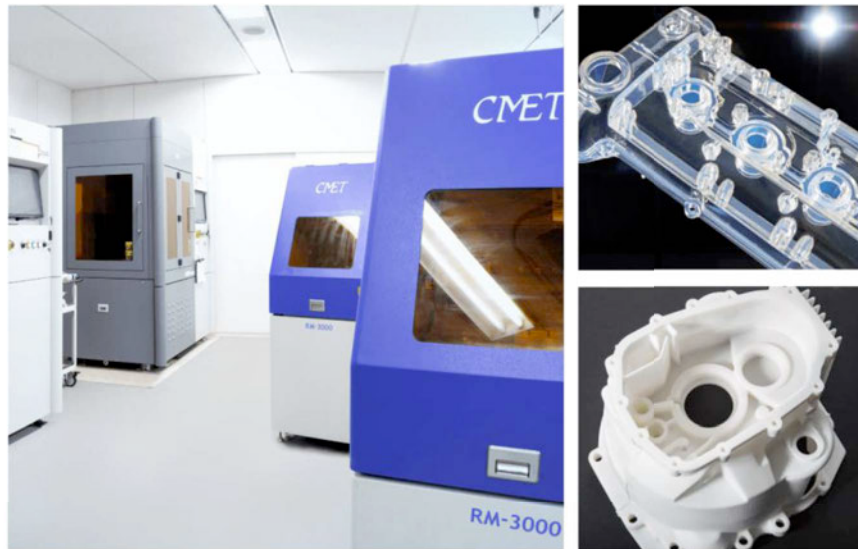


事業紹介



鋳造事業

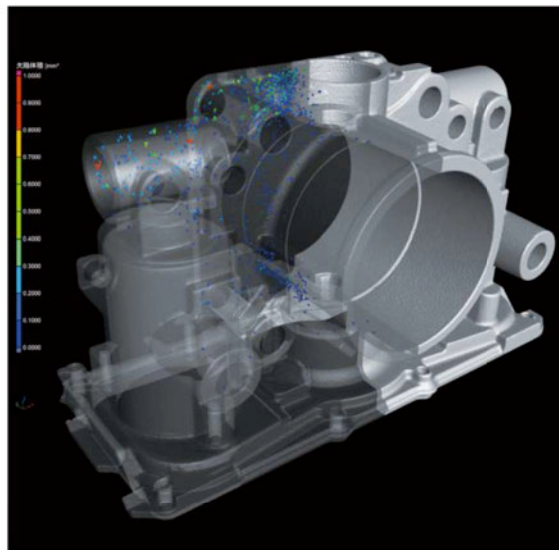
精密砂型鋳造による試作、量産を行っています。柔軟な材料対応力と、社内一貫生産による短納期対応、産業用CTを始めとする最新機器による高度な品質保証を特徴としています。



3Dプリンター事業

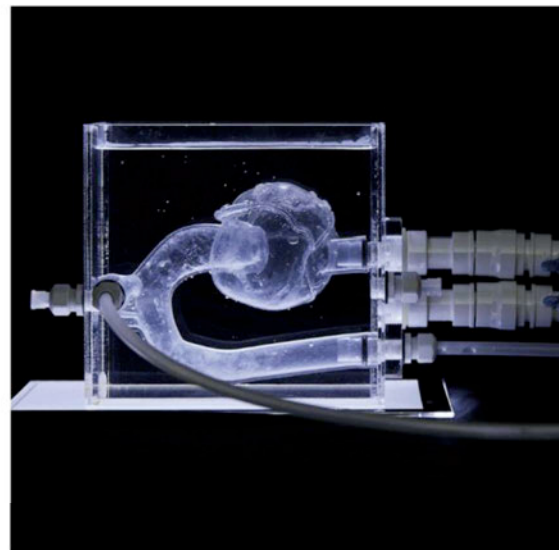
工業部品の試作やモックアップを3Dプリンターで製作するサービスを行っています。豊富なキャパシティで短納期化を実現します。
また、2020年7月より3Dプリンターによる樹脂製品の量産サービスを開始しました。

事業紹介



CT 事業

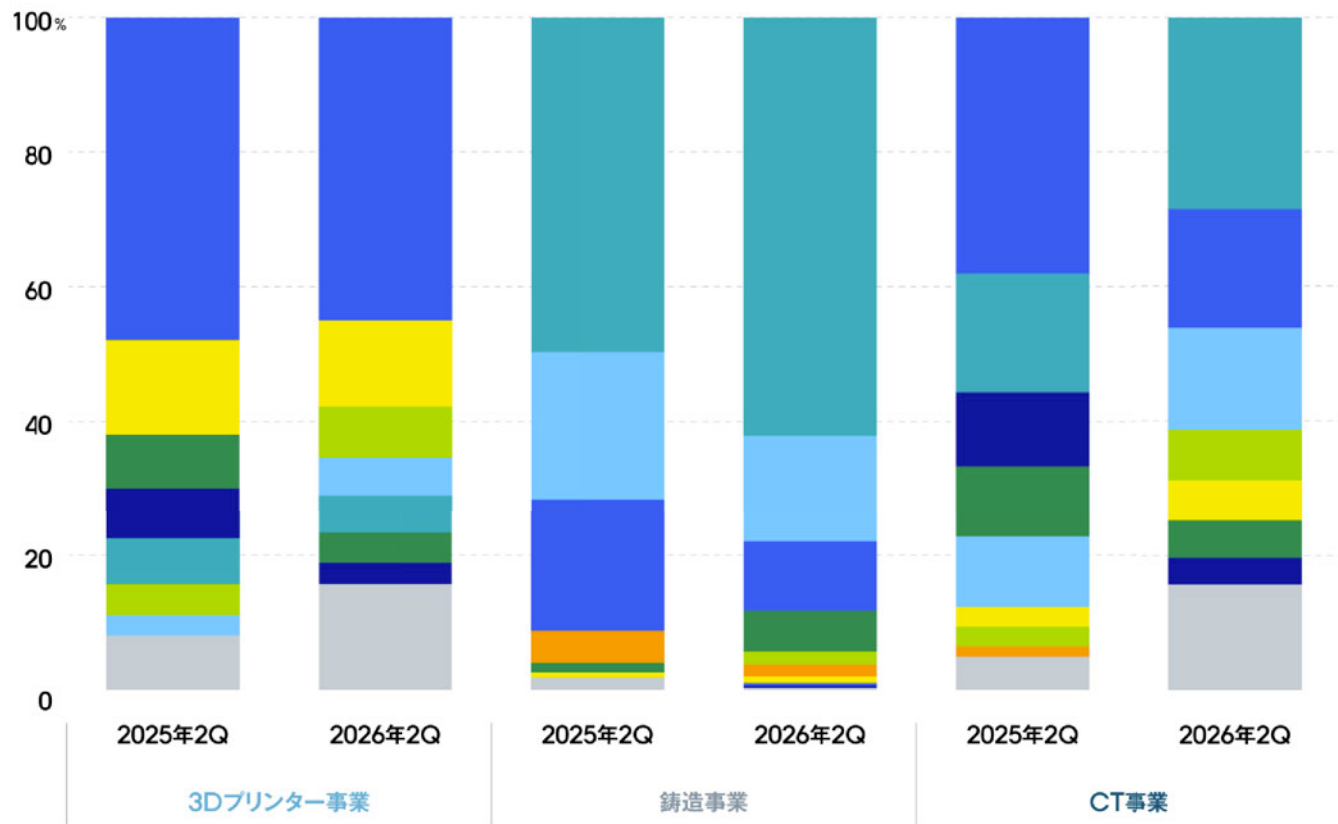
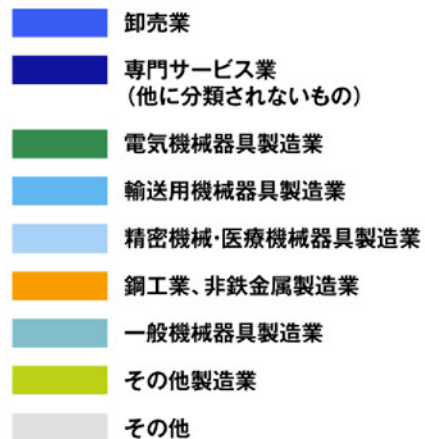
産業用CTスキャナを使用した三次元測定サービスを行っています。産業用CTは他の測定方法に比べ、複雑形状や複合部品のスキャンを得意としており、幅広い分野で活躍しています。



メディカル

心臓カテーテルシミュレーター「HEARTROID(ハートロイド)」をはじめとして、3Dプリンター技術を活用したオーダーメイドの臓器モデルや医療用シミュレーターを開発・製造し、治療技術の向上に寄与しています。

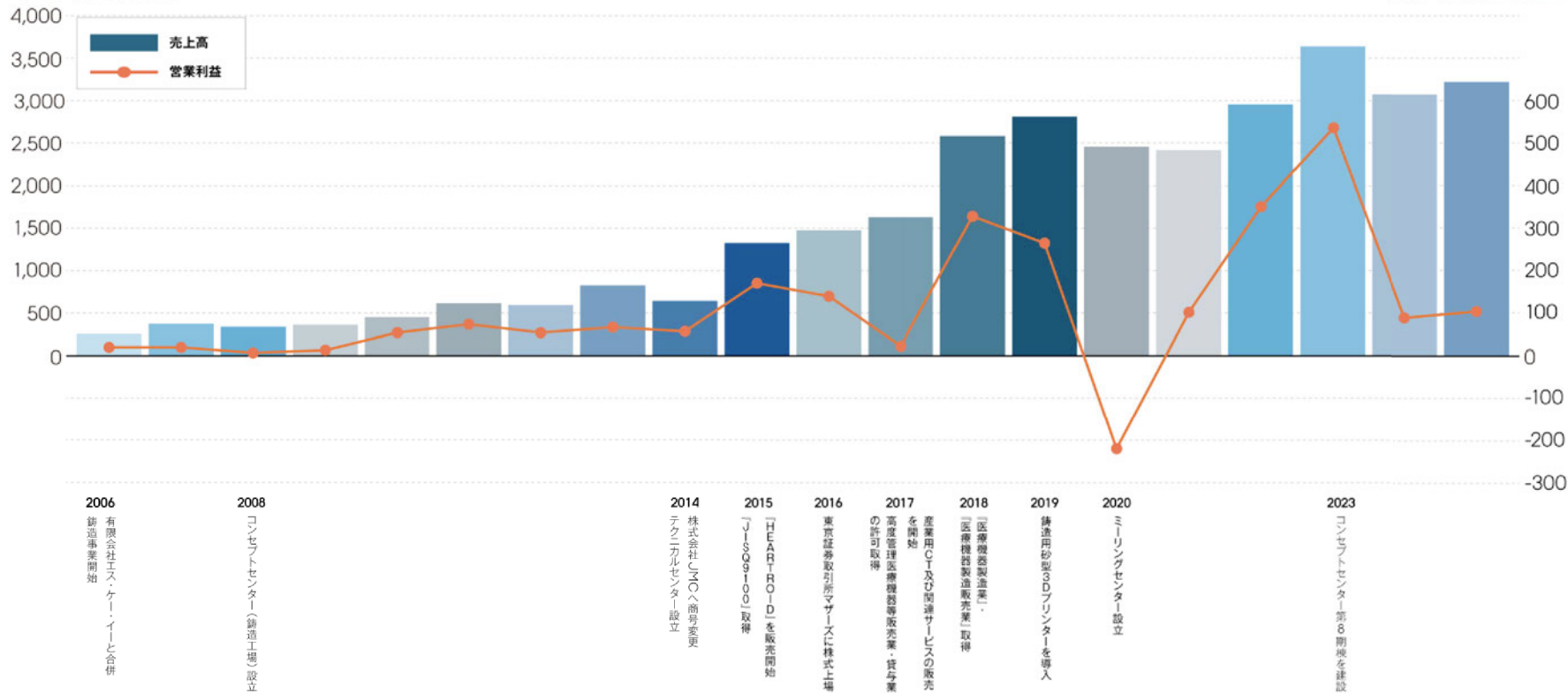
産業別売上高比率



業績推移

売上高 (単位: 百万円)

(単位: 百万円) 営業利益



お問い合わせ



JMC コーポレートサイト
jmc-rp.co.jp/



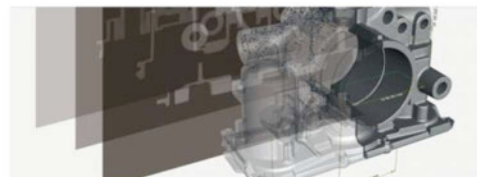
3Dプリンター出力サービス
3d-printout.com/



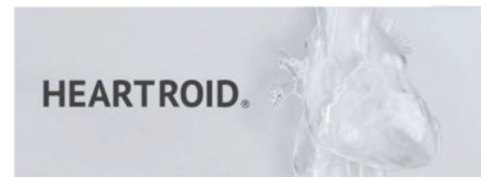
Additive Manufacturing
3d-printout.com/am/



砂型 casting
metal-casting.jp/



産業用CTスキャンサービス
jmc-ct.jp/



HEARTROID
heartroid.jp/



3Dプリント臓器模型
medical-jmc.com



CT生物図鑑
ctseibutsu.jp/



3DiH 3D Innovation Hub
3dih.jp/



将来の見通しに関する注意事項

本説明会および説明資料の内容は、発表日時点で入手可能な情報や判断に基づくものです。

将来発生する事象等により内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。

また、本説明会および説明会資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、多分に不確定な要素を含んでいるため、実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。

本資料中に記載されているロゴ・会社(機関)名・製品名は、各社(機関)の登録商標または商標です。

将来の見通しに関する注意事項

◆本件に関するご連絡先◆

株式会社JMC 経営企画室

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目5番5号

電話番号:045-477-5751 E-mail:ir@jmc-rp.co.jp